

令和6年度横浜国立大学入学者選抜における変更について（予告）

令和4年7月15日更新

このことについて、次のとおり変更します。

令和4年7月15日付で変更内容を新たに追加しました。（青字箇所：教育学部一般選抜・帰国生徒選抜、都市科学部都市社会共生学科一般選抜・総合型選抜・帰国生徒選抜）

1. 一般選抜

教育学部（詳細は3ページ参照）

学校教員養成課程芸術・身体・発達支援系教育コースの保健体育専門領域では、学校教員になるために必要な基礎的運動能力と技能を重視するため、個別学力検査の実技検査で課していた種目を変更します。

具体的には、「①器械運動」、「②陸上競技」、「③表現運動」、「④ボール運動」、「⑤柔道」の5種目から4種目選択に変更します。

都市科学部 都市社会共生学科（詳細は4ページ参照）

都市社会共生学科では、これまで一般選抜において2段階選抜を実施していませんでしたが、面接試験を課している「後期日程のみ」、適切な受験者人数で選抜を実施するため2段階選抜を導入します。

都市科学部 建築学科及び都市基盤学科（詳細は6ページ参照）

建築学科または都市基盤学科を志望する場合は、出願時に他方の学科を第2志望とすることができましたが、各学科の特色を十分に理解し、明確な志望を有する学生の選抜を鮮明にするため、これを廃止し、一つの学科のみ志望できることとします。

2. 総合型選抜

都市科学部 都市社会共生学科（詳細は8ページ参照）

都市社会共生学科の総合型選抜において、学科への適性或学力などを適切に判断するため、最終合格者決定の方法を変更します。

具体的には、第2次選抜合格者に対し、大学入学共通テストの試験教科・科目を課し、第2次選抜の成績と大学入学共通テストの結果により決定する方法に変更します。

これは令和 6 年度（2024 年度）入学者選抜に係る資料です。

3. 帰国生徒選抜

教育学部（詳細は 10 ページ参照）

教育学部では、外国の学校教育制度に基づく教育を受けた者の受入を促進するため、出願要件の一部を変更します。

具体的には、これまでの「保護者等の海外勤務等やむを得ない事情により外国の学校教育を受けた者」という要件を削除します。

都市科学部 都市社会共生学科（詳細は 11 ページ参照）

都市社会共生学科の帰国生徒選抜において、学科への適性或学力などを適切に判断するため、選抜方法を変更します。

具体的には、まず第 1 段階選抜の書類選抜では、これまでの「特色活動説明書」、「学習計画書」、「最終出身学校の成績証明書」に加えて、英語外部試験のうち「TOEFL iBT 又は IELTS (Academic Module) の成績証明書」を新たに課すこととします。

また、最終合格者決定の方法についても、第 2 次選抜の成績及び TOEFL iBT 又は IELTS (Academic Module) の成績証明書の内容により決定する方法に変更します。

これは令和6年度（2024年度）入学者選抜に係る資料です。

令和6年度横浜国立大学入学者選抜における変更について（予告）

学部名 選抜名： 教育学部 一般選抜

学科・課程等名 (入学定員)		選抜方法 (募集人員)		大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等 教科・科目名等			
6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度		
				教科	科目	教科	科目		
学校教員養成課程 (200名) (変更なし)	学校教員養成課程 (200名)	前期日程 ＜芸術・身体・発達支援系教育コース（保健体育専門領域）＞ (7名) [注1] [注2] (変更なし)	前期日程 ＜芸術・身体・発達支援系教育コース（保健体育専門領域）＞ (7名) [注1] [注2]	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語	「国語」 「世界史 B」、「日本史 B」、「地理 B」から1または2 「倫理、政治・経済」 (a) 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 (b) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c) 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 及び、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (d) 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 地理歴史・公民から2科目の場合、理科は(a)又は(b) 地理歴史・公民から1科目の場合、理科は(c)又は(d) 「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 地理歴史・公民から1科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 地理歴史・公民から2科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 又は [6教科7科目] 又は [6教科8科目] 【900点】 [注3] [注4] [注5] [注6] [注7] (変更なし)	その他	集団面接試験（調査書及び自己推薦書の評価を含む）と「体育の実技」 次の 実技検査を課す。 次の5種目から4種目選択して実技を行い、基礎的な運動能力と技能を総合的に評価する。 ①器械運動 ②陸上運動 ③表現運動 ④ボール運動 ⑤柔道 【400点】 [注8] [注9] [注10]	その他	集団面接試験（調査書及び自己推薦書の評価を含む）と「体育の実技」 次の 1、2の実技検査を課す。 1. 次の4種目の実技すべてを行い、基礎的な運動能力と技能を総合的に評価する。 ①器械運動 ②陸上運動 ③表現運動 ④ボール運動 2. 次の①～⑩の種目の中から1種目を選択し、その専門的な運動能力と技能を総合的に評価する。 ①陸上競技 ②ダンス ③剣道 ④柔道 ⑤バレーボール ⑥バスケットボール ⑦サッカー ⑧テニス（硬式） ⑨野球（軟式を含む） ⑩器械運動 【400点】 [注8] [注9] [注10]

- [注1] 「芸術・身体・発達支援系教育コース」の各専門領域に入学した者は、それぞれの専門領域に所属し、他のコース・専門領域に進むことはできません。
- [注2] 各コース・専門領域の募集人員は予定数であり、志願状況等により増減があります。
- [注3] 「理科」で(c)を選択する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）の選択を認めず。
- [注4] 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(c)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点を採用し、次いで「地理歴史」・「公民」の第2解答科目の得点、「理科」の基礎を付した2科目の得点、「理科」の基礎を付さない1科目の得点のうち、得点の高い順に2つの得点を合否判定に用います。
- [注5] 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(d)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。
- [注6] 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
- [注7] 「英語」についてはリスニングテストを含みます。（「リスニングテスト」の免除を許可された者を除く。）
- [注8] 高い学力を有し、かつ、教員になるという意志が強く、教員になる上での資質の高い学生を選抜するため、受験者全員に集団面接試験を課します。
- [注9] 実技検査では、学校教員として必要となる実技能力を備えているか、評価します。
- [注10] 面接試験の結果によっては、大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。

これは令和6年度（2024年度）入学者選抜に係る資料です。

令和6年度横浜国立大学入学者選抜における変更について（予告）

学部名 選抜名： 都市科学部 一般選抜

学科・課程等名 (入学定員)		選抜方法 (募集人員)		大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等 教科・科目名等	
6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度
				教科	科目	教科	科目
都市社会共 生学科 (74名) (変更なし)	都市社会共 生学科 (74名)	前期日程 (30名) ※2段階選抜は行 いません。 (変更なし)	前期日程 (30名) ※2段階選抜は行 いません。	国 語 地理歴史 公 民 理 科 数 学 外 国 語	「国語」 「世界史 B」、「日本史 B」、「地理 B」 「倫理、政治・経済」 } から1又は2 (a)「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 (b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c)「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (d)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 } (a)~(d) のいずれか 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 地理歴史・公民から1科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 地理歴史・公民から2科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 又は [6教科7科目] 又は [6教科8科目] 【900点】 [注1] [注2] [注3] [注4] [注5] (変更なし)	その他	小論文 【500点】 [注6] (変更なし)
		後期日程 (12名) ※入学志願者数が 学科募集人員の約 10倍を超える場 合は、2段階選抜を 行います。 第1段階選抜は、 大学入学共通テス トの成績および調 査書により行いま す。	後期日程 (12名) ※2段階選抜は行 いません。	国 語 地理歴史 公 民 理 科 数 学 外 国 語	「国語」 「世界史 B」、「日本史 B」、「地理 B」 「倫理、政治・経済」 } から1又は2 (a)「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 (b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c)「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (d)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 } (a)~(d) のいずれか 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 地理歴史・公民から1科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 地理歴史・公民から2科目の場合 [5教科7科目] 又は [5教科8科目] 又は [6教科7科目] 又は [6教科8科目] 【900点】 [注1] [注2] [注3] [注4] [注5] (変更なし)	その他	面接試験 【200点】 [注7] (変更なし)

これは令和6年度（2024年度）入学者選抜に係る資料です。

- [注1] 「理科」で(c)を選択する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）の選択を認めます。
- [注2] 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(c)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点を採用し、次いで「地理歴史」・「公民」の第2解答科目の得点、「理科」の基礎を付した2科目の得点、「理科」の基礎を付さない1科目の得点のうち、得点の高い順に2つの得点を合否判定に用います。
- [注3] 「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(d)を選択して受験した場合は、まず、「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。
- [注4] 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
- [注5] 「英語」についてはリスニングを含みます。（「リスニング」の免除を許可された者を除く。）
- [注6] 「小論文」の内容は、以下のとおりです。
都市社会共生学科：これからの都市を様々に構想することを背景におきながら、共生社会と多様性のあり方、文化や芸術の可能性、グローバルとローカルの接合などに関連して提示された人文社会領域の素材について、内容把握の読解力、問題点を解決するための発想力、考えを表現するための論理的思考力や表現力を評価します。
- [注7] 自己推薦書及び他の提出書類を参考にし、複数の面接員による個人面接試験を行い、問題点を解決するための発想力、考えを表現するための論理的思考力や表現力などを総合的に評価します。

これは令和6年度（2024年度）入学者選抜に係る資料です。

令和6年度横浜国立大学入学者選抜における変更について（予告）

学部名 選抜名： 都市科学部 一般選抜

学科・課程等名 (入学定員)		選抜方法 (募集人員)		大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等 教科・科目名等	
6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度
				教科	科目	教科	科目
建築学科 (70名) (変更なし)	建築学科 (70名)	前期日程 (40名) <u>※第2志望を選択することはできません。</u>	前期日程 (40名) <u>※出願時に都市基盤学科を第2志望として選択して出願することができます。</u>	国語	「国語」	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学Ⅲ、数学A、 数学B
				地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	理科	物理基礎・物理、 化学基礎・化学
				公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」		外国語
				数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1		
				理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2		
				外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1		
					【900点】 [注1] [注2] (変更なし)		
					[5教科7科目]		
		後期日程 (19名) <u>※第2志望を選択することはできません。</u>	後期日程 (19名) <u>※出願時に都市基盤学科を第2志望として選択して出願することができます。</u>	国語	「国語」	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学Ⅲ、数学A、 数学B
				地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	理科	物理基礎・物理、 化学基礎・化学
				公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」		
				数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1		
				理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2		
				外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1		
					【650点】 [注1] [注2] (変更なし)		
					[5教科7科目]		

これは令和6年度（2024年度）入学者選抜に係る資料です。

学科・課程等名 (入学定員)		選抜方法 (募集人員)		大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等 教科・科目名等	
6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度
				教科	科目	教科	科目
都市基盤学科 (48名) (変更なし)	都市基盤学科 (48名)	前期日程 (18名) <u>※第2志望を選択することはできません。</u>	前期日程 (18名) <u>※出願時に建築学科を第2志望として選択して出願することができます。</u>	国語	「国語」 「世界史 B」、「日本史 B」、「地理 B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「数学 I ・数学 A」と 「数学 II ・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 【900点】 [注1] [注2] (変更なし)	数学	数学 I、数学 II、 数学 III、数学 A、 数学 B 物理基礎・物理、 化学基礎・化学 コミュニケーション英語 I、コミュニケーション英語 II、 コミュニケーション英語 III、英語表現 I、英語表現 II 【1200点】 [注3] [注4] [注5] [注6] (変更なし)
		後期日程 (12名) <u>※第2志望を選択することはできません。</u>	後期日程 (12名) <u>※出願時に建築学科を第2志望として選択して出願することができます。</u>	国語		「国語」 「世界史 B」、「日本史 B」、「地理 B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 } から1 「数学 I ・数学 A」と 「数学 II ・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 【650点】 [注1] [注2] (変更なし)	

- [注1] 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
 [注2] 「英語」についてはリスニングテストを含みます。(「リスニングテスト」の免除を許可された者を除く。)
 [注3] 「数学 I」、「数学 II」、「数学 III」及び「数学 A」は全範囲から出題します。
 [注4] 「数学 B」は「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
 [注5] 「物理基礎・物理」は物理基礎・物理の全範囲から出題します。
 [注6] 「化学基礎・化学」は化学基礎・化学の全範囲から出題します。

令和6年度横浜国立大学入学者選抜における変更について（予告）

学部名 選抜名： 都市科学部 総合型選抜

選抜方法																							
6年度	5年度																						
<p>都市社会共生学科（18名）</p> <p>【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行います。</p> <p>1. 特色活動説明書及び学習計画書 ・特色活動説明書（本学様式）： これまで自分がおこなってきた特色ある活動について、その内容と意義や魅力を、600字程度で具体的に説明してください。文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。 ・学習計画書（本学様式）：以下の点について、600字程度で記述してください。 ①都市・社会・文化の領域で特に関心を持っていることは何か ②その関心を大学でどのように深め、社会や世界でどのように活かしていきたいか 文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。</p> <p>2. 調査書等:都市社会共生学科への適性を判断するために使用します。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、文章実技+面接試験による選抜を行う。文化的・社会的現象に関するテーマについての基本的な理解、論理的思考力及び表現力を問う内容で行う。 ※文章実技では、文化的・社会的現象に関する600字程度の作文を当日に課し、口頭試問では志望動機や学習計画と合わせて作文内容についても質疑を行う。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、以下の大学入学共通テストの試験教科・科目を課し、第2次選抜の成績及び大学入学共通テストの結果により、最終的な合格者を決定する。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>国語「国語」</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」</td> </tr> <tr> <td>公民「倫理、政治・経済」</td> <td rowspan="2">} (a)又は(b)のいずれか</td> </tr> <tr> <td>数学(a)「数学I・数学A」と、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1</td> </tr> <tr> <td>理科(b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1</td> <td rowspan="2">} (a)又は(b)のいずれか</td> </tr> <tr> <td>外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(a)の場合 [4教科・5科目]、(b)の場合 [4教科・4科目]</td> </tr> </table> <p>注1:「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。 注2:「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しない。 注3:「英語」についてはリスニングを含みます。(リスニングの免除を許可された者を除く。)</p>	国語「国語」	} から1	地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	公民「倫理、政治・経済」	} (a)又は(b)のいずれか	数学(a)「数学I・数学A」と、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1	理科(b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1	} (a)又は(b)のいずれか	外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1	(a)の場合 [4教科・5科目]、(b)の場合 [4教科・4科目]		<p>都市社会共生学科（18名）</p> <p>【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行います。</p> <p>1. 特色活動説明書及び学習計画書 ・特色活動説明書（本学様式）： これまで自分がおこなってきた特色ある活動について、その内容と意義や魅力を、600字程度で具体的に説明してください。文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。 ・学習計画書（本学様式）：以下の点について、600字程度で記述してください。 ①都市・社会・文化の領域で特に関心を持っていることは何か ②その関心を大学でどのように深め、社会や世界でどのように活かしていきたいか 文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。</p> <p>2. 調査書等:都市社会共生学科への適性を判断するために使用します。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、文章実技+面接試験による選抜を行う。文化的・社会的現象に関するテーマについての基本的な理解、論理的思考力及び表現力を問う内容で行う。 ※文章実技では、文化的・社会的現象に関する600字程度の作文を当日に課し、口頭試問では志望動機や学習計画と合わせて作文内容についても質疑を行う。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、以下の大学入学共通テストの試験教科・科目を課し、大学入学共通テストの結果により、最終的な合格者を決定する。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>(大学入学共通テストの教科・科目)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>国語「国語」</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」</td> </tr> <tr> <td>公民「倫理、政治・経済」</td> <td rowspan="2">} (a)又は(b)のいずれか</td> </tr> <tr> <td>数学(a)「数学I・数学A」と、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1</td> </tr> <tr> <td>理科(b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1</td> <td rowspan="2">} (a)又は(b)のいずれか</td> </tr> <tr> <td>外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(a)の場合 [4教科・5科目]、(b)の場合 [4教科・4科目]</td> </tr> </table> <p>注1:「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。 注2:「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している者を含む。）及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しない。 注3:「英語」についてはリスニングを含みます。(リスニングの免除を許可された者を除く。)</p>	国語「国語」	} から1	地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	公民「倫理、政治・経済」	} (a)又は(b)のいずれか	数学(a)「数学I・数学A」と、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1	理科(b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1	} (a)又は(b)のいずれか	外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1	(a)の場合 [4教科・5科目]、(b)の場合 [4教科・4科目]	
国語「国語」	} から1																						
地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」																							
公民「倫理、政治・経済」	} (a)又は(b)のいずれか																						
数学(a)「数学I・数学A」と、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1																							
理科(b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1	} (a)又は(b)のいずれか																						
外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1																							
(a)の場合 [4教科・5科目]、(b)の場合 [4教科・4科目]																							
国語「国語」	} から1																						
地理歴史「世界史B」、「日本史B」、「地理B」																							
公民「倫理、政治・経済」	} (a)又は(b)のいずれか																						
数学(a)「数学I・数学A」と、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1																							
理科(b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1	} (a)又は(b)のいずれか																						
外国語「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1																							
(a)の場合 [4教科・5科目]、(b)の場合 [4教科・4科目]																							

これは令和6年度（2024年度）入学者選抜に係る資料です。

(大学入学共通テストの配点)

教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計
配点	200	200	*200	*200	200	800

注4：配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

注5：大学入学共通テスト「地理歴史・公民」は、第1解答科目の得点を2倍にして合否判定に用います。

注6：(a)大学入学共通テスト「数学」を受験したものについては、「数学Ⅰ・数学A」の得点と、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」のいずれかの得点の合計を「数学」の得点とします。(b)大学入学共通テスト「理科」を受験したものについては、最も得点の高い科目の得点を2倍にしたものを「理科」の得点とします。(a)(b)の得点の高いほうを合否判定に用います。

注7：大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

200点満点 リーディング100点×1.5+リスニング100点×0.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。

(大学入学共通テストの配点)

教科名	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	合計
配点	200	200	*200	*200	200	800

注4：配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

注5：大学入学共通テスト「地理歴史・公民」は、第1解答科目の得点を2倍にして合否判定に用います。

注6：(a)大学入学共通テスト「数学」を受験したものについては、「数学Ⅰ・数学A」の得点と、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」のいずれかの得点の合計を「数学」の得点とします。(b)大学入学共通テスト「理科」を受験したものについては、最も得点の高い科目の得点を2倍にしたものを「理科」の得点とします。(a)(b)の得点の高いほうを合否判定に用います。

注7：大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。

200点満点 リーディング100点×1.5+リスニング100点×0.5

なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。

令和6年度横浜国立大学入学者選抜における変更について（予告）

学部名 選抜名： 教育学部 帰国生徒選抜

出願要件	
6年度	5年度
<p>学校教員養成課程（若干名）</p> <p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、<u>（削除）</u> 次の（1）～（4）のいずれかに該当する者</p> <p>（1）外国において学校教育における12年の課程を令和4年（2022年）4月1日から令和6年（2024年）3月31日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者で、外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けた者</p> <p>（2）外国の教育制度に基づいて外国に設置された学校から、引き続き日本の高等学校の第3学年若しくは中等教育学校の第6学年に編入し、令和5年（2023年）4月から、令和6年（2024年）3月までに卒業又は卒業見込みの者で、次の①・②のどちらかを満たす者</p> <p>①外国の学校教育制度に基づく中学校ないし高等学校に通算3年以上在籍した者</p> <p>②外国の学校教育制度に基づく高等学校に学校暦2年以上継続して在籍した者</p> <p>（3）外国において次の(a)～(d)のいずれかを令和4年（2022年）1月1日から令和5年（2023年）12月31日に授与された者</p> <p>(a) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>(b) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>(c) フランス共和国において大学入学資格として認められている普通バカロレア資格</p> <p>(d) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル資格）[3科目以上合格（評価E以上）していること]</p> <p>（4）外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、NEASC、CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和4年（2022年）4月1日から令和6年（2024年）3月31日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みであり、最終学年を含め学校暦2年以上継続して学校教育を受けた者</p> <p>[注1]：「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的場所に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業（修了）により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者（出願要件（3）又は（4）を満たす者は除く）については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、出願期間前に照会してください。</p> <p>[注2]：外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p> <p>[注3]：本学他学部の帰国生徒選抜（外国学校出身者選抜を含む）との併願は認めません。</p> <p><u>（削除）</u></p>	<p>学校教員養成課程（若干名）</p> <p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、<u>保護者の海外勤務等やむを得ない事情により外国の学校教育を受けた者で、</u> 次の（1）～（4）のいずれかに該当する者</p> <p>（1）外国において学校教育における12年の課程を令和3年（2021年）4月1日から令和5年（2023年）3月31日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者で、外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けた者</p> <p>（2）外国の教育制度に基づいて外国に設置された学校から、引き続き日本の高等学校の第3学年若しくは中等教育学校の第6学年に編入し、令和4年（2022年）4月から、令和5年（2023年）3月までに卒業又は卒業見込みの者で、次の①・②のどちらかを満たす者</p> <p>①外国の学校教育制度に基づく中学校ないし高等学校に通算3年以上在籍した者</p> <p>②外国の学校教育制度に基づく高等学校に学校暦2年以上継続して在籍した者</p> <p>（3）外国において次の(a)～(d)のいずれかを令和3年（2021年）1月1日から令和4年（2022年）12月31日に授与された者</p> <p>(a) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>(b) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>(c) フランス共和国において大学入学資格として認められている普通バカロレア資格</p> <p>(d) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル資格）[3科目以上合格（評価E以上）していること]</p> <p>（4）外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、NEASC、CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和3年（2021年）4月1日から令和5年（2023年）3月31日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みであり、最終学年を含め学校暦2年以上継続して学校教育を受けた者</p> <p>[注1]：「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的場所に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業（修了）により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者（出願要件（3）又は（4）を満たす者は除く）については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、出願期間前に照会してください。</p> <p>[注2]：外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p> <p>[注3]：本学他学部の帰国生徒選抜（外国学校出身者選抜を含む）との併願は認めません。</p> <p>[注4]：志願者本人の事由により、保護者の帯同なしに2年以上海外に滞在する者は出願を認めません。</p>

選抜方法	
6年度	5年度
<p>都市社会共生学科（若干名）</p> <p>【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行います。</p> <p>1. 特色活動説明書及び学習計画書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色活動説明書（本学様式）：これまで自分がおこなってきた特色ある活動について、その内容と意義や魅力を、600字程度で具体的に説明してください。文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。 ・学習計画書（本学様式）：以下の点について、600字程度で記述してください。 <ul style="list-style-type: none"> ①都市・社会・文化の領域で特に興味を持っていることは何か ②その関心を大学でどのように深め、社会や世界でどのように活かしていきたいか <p>文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。</p> <p>2. 最終出身学校の成績証明書等 都市社会共生学科への適性を判断するために使用します。</p> <p>3. TOEFL iBT 又は IELTS (Academic Module) の成績証明書 <u>基礎学力の評価及び都市社会共生学科への適性を判断するために使用します。</u></p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、文章実技＋面接試験による選抜を行う。文化的・社会的現象に関するテーマについての基本的な理解、論理的思考力及び表現力を問う内容で行います。 ※文章実技では、文化的・社会的現象に関する600字程度の作文を当日に課し、口頭試問では志望動機や学習計画と合わせて作文内容についても質疑を行います。</p> <p>【最終合格者決定】 <u>第2次選抜の成績及びTOEFL iBT 又は IELTS (Academic Module) の成績証明書の内容</u>により最終合格者を決定します。なお、選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>※大学入学共通テストは課しません。</p>	<p>都市社会共生学科（若干名）</p> <p>【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行います。</p> <p>1. 特色活動説明書及び学習計画書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色活動説明書（本学様式）：これまで自分がおこなってきた特色ある活動について、その内容と意義や魅力を、600字程度で具体的に説明してください。文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。 ・学習計画書（本学様式）：以下の点について、600字程度で記述してください。 <ul style="list-style-type: none"> ①都市・社会・文化の領域で特に興味を持っていることは何か ②その関心を大学でどのように深め、社会や世界でどのように活かしていきたいか <p>文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。</p> <p>2. 成績証明書等 都市社会共生学科への適性を判断するために使用します。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、文章実技＋面接試験による選抜を行う。文化的・社会的現象に関するテーマについての基本的な理解、論理的思考力及び表現力を問う内容で行います。 ※文章実技では、文化的・社会的現象に関する600字程度の作文を当日に課し、口頭試問では志望動機や学習計画と合わせて作文内容についても質疑を行います。</p> <p>【最終合格者決定】 <u>第2次選抜の結果</u>により最終合格者を決定します。なお、選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>※大学入学共通テストは課しません。</p>